

2014 越美山系砂防 5大ニュース

本年もあと1週間となりました。本年最後のクマタカ通信は、越美山系砂防事務所に関係する2014年の出来事TOP5を選びました。それでは、どちら様も良いお年をお迎え下さい。

第1位 全国各地で土砂災害が発生 事務所から職員(TEC-FORCE隊員)を派遣

本年は全国各地で土砂災害が発生し、当事務所から11名の職員が現地入りし、述べ34日間にわたって活動を行いました。7月9日に台風8号により長野県南木曽町梨子沢で発生した土石流災害では、被害状況調査や応急復旧作業指導等、8月20日に豪雨により広島市で発生した大規模土砂災害では、溪流点検や応急復旧に用いる大型土のう設置の施工監督、9月27日に長野、岐阜両県にまたがる御嶽山が噴火した際には、降灰状況の調査や土石流発生時に保全対象となる集落やネックとなる橋梁の確認を行いました。



南木曽町土砂災害の被害調査



広島市土砂災害の溪流点検

第2位 本巢市根尾の下河原谷で土石流発生

8月に発生した台風11号の影響は、当事務所所管の小津（おづ）雨量観測所で8月10日の14時～15時の1時間に71mmの雨量を観測するなど、事務所管内で非常に激しい雨となりました。この豪雨により、本巢市根尾大河原（ねおおがわら）地先の下河原谷（しもかわらたに）では土石流が発生し、谷に架かる国道157号の橋梁が流出して通行不能となりました。この影響で大河原集落が一時孤立化し、国道157号は現在でも通行止めが続いています。下河原谷では、今後も土石流が発生する恐れがあるため、堰堤の設置に向け、対策を進めております。



国道157号に土砂が堆積



土石流の流下痕

第3位 ドン谷溪流保全工・ 敷原谷第1砂防堰堤が竣工

揖斐川町坂内坂本（さかうちさかも）地先でのドン谷溪流保全工事は、諸家（もろか）集落内を流れるドン谷の流下断面を拡大し、流路の安定化を目的に、また、本巢市根尾長嶺（ねおながみね）地先の敷原谷（しきはらたに）第1砂防堰堤工事は、下流の門脇（かどわき）・長嶺集落を土砂災害から守り、根尾川本川への急激な土砂流出による河床上昇の抑制を目的に工事が行われ、共に平成26年3月に竣工し、4月には地元の皆様に竣工をお祝いして頂きました。



ドン谷溪流保全工



敷原谷第1砂防堰堤

第4位 大規模土砂災害に 連携強化しての対応を

越美山系大規模土砂災害危機管理連絡調整会が、12月2日に設立されました。当調整会は、本巢市長及び揖斐川町長を共同会長として、関係機関との情報共有、災害時の役割分担や連携内容の調整をして、土砂災害に対する危機管理体制の充実を図っていきます。

また、当調整会の設立を記念して、11月25日には、国土交通省の足立顧問を講師に迎え「大規模災害時の危機管理」と題して、防災講演会が開催されました。

第5位 優秀論文に選ばれる

平成24年度越美山系大仲津谷（おなかつたに）第1砂防堰堤工事（施工：榊山辰組）の監理技術者 棚橋さんが、6月13日に開催された「平成26年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」において、544課題の応募の中、優秀論文5課題に選ばれました。当工事は砂防の現場では珍しく集落の近くで行う工事で「大仲津谷第1砂防堰堤工事における公衆及び第三者災害に対する安全対策について」と題し、架空線切断や第三者災害等の公衆災害を防止する独自の取り組み等を纏めて発表されました。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp